仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　2024年8月9日

事業名	栃木県児童館連絡協議会西児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会西児童館参画事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	西児童館				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 栃木県児童館連絡協議会会則	事業期間	開始年度	H13	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度		事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県児童館連絡協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の会議や研修会に参加することにより、児童館職員の意見交換や職務の資質の向上を図っている。 ※協議会とは栃木県子ども総合科学館と県内１４市町の児童館等４１館で構成し、児童館運営の充実強化と児童福祉の増進を目的とした団体である。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館相互交流により、他市等の状況や有効な知識や情報を基に、児童館主催の各イベント運営に役立てる。 ・研修会等参加し、児童館職員の資質向上を図る。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会参加回数	回	5	6	7	7	7
研修会参加職員数	人	3	6	7	7	7

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	（市の活動） 栃木県児童館連絡協議会に負担金を支出し、会議や研修会に参加。 （栃木県児童館連絡協議会の活動） 総会、役員会、職員研修の充実、普及啓発活動、児童館相互の交流活動の充実、児童厚生員二級指導員の資格認定研修の実施等。

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会参加回数	回	5	6	7
研修会参加職員数	人	3	6	7
事業費計	千円	3	3	3
一般財源	千円	3	3	3
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・協議会の各種研修会に参加することにより、新たな情報・知識を習得することができる。その情報・知識を西児童館の各イベント運営に役立てることにより、イベントに参加した方々に十分な満足が得られることに寄与する。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会参加回数	回	5	6	7	値が大きいほど良い	効果が上がった
研修会参加職員数	人	3	6	7	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減) 効果が上がった指標数	2指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	南児童館管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		南児童館管理運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	南児童館				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市児童館条例	事業期間	開始年度	H9	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。 ・施設を安全に維持管理する。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。 ・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	12,000	12,000
事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	2,000	2,000
修繕箇所	箇所	4	4	4	0	0

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・子育て教室「やんちゃママ＆キッズクラブ」の実施（毎週月曜日開催） ・四季おりおりの行事開催 ・各種教室の実施（工作タイム、スポーツタイム、スターウォッチングなど） ・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施 ※空調設備改修工事のため、４月20日から４月28日まで休館

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子育て教室開催回数	回	32	30	36
各種教室開催回数	回	39	40	50
行事開催回数	回	0	3	5
事業費計	千円	14,271	14,043	14,782
一般財源	千円	10,524	9,615	10,482
特定財源（国・県・他）	千円	3,747	4,428	4,300
（うち受益者負担）	千円	646	700	716

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・新型コロナウイルスが第５類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。例えば、令和2年度7,518人が令和5年度11,316人へと入館者が増え、もとに戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のＰＲ活動を重点的に実施した。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	値が大きいほど良い	効果が上がった
事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	値が大きいほど良い	効果が上がった
修繕箇所	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	1指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

多くの市民等に来館していただくために、イベント等のPRし、周知を図る

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

ホームページに最新情報を掲載し、周知を図るとともに、来観者へ口こみで案内する。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	栃木県児童館連絡協議会田沼児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会田沼児童館参画事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	田沼児童館				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 栃木県児童館連絡協議会会則	事業期間	開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県児童館連絡協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の会議や研修会に参加することにより、児童館職員の意見交換や資質の向上を図っている。 ※協議会とは、栃木県子ども総合科学館と県内14市町の児童館等４１館で構成し、児童館運営の充実強化と児童福祉の増進を目的とした団体である。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館相互交流により、他市等の状況や有効な知識や情報を基に、児童館主催の各イベント運営に役立てる。 ・研修会等参加し、児童館職員の資質向上を図る。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会参加回数	回	7	7	7	7	7
研修会参加職員数	人	3	3	6	7	7

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	（市の活動） 栃木県児童館連絡協議会に負担金を支出し、会議や研修会に参加。 （栃木県児童館連絡協議会の活動） 総会、役員会、職員研修の充実、普及啓発活動、児童館相互の交流活動の充実、児童厚生員二級指導員の資格認定研修の実施等。

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会参加回数	回	4	6	5
研修会参加職員数	人	4	6	5
事業費計	千円	3	3	3
一般財源	千円	3	3	3
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・栃木県児童館連絡協議会の各種研修会に参加することにより、新たな情報・知識を習得することができる。その情報・知識を東児童館の各イベント運営に役立てることにより、イベントに参加した方々に十分な満足が得られることに寄与する。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会参加回数	回	3	3	6	値が大きいほど良い	効果が上がった
研修会参加職員数	人	3	3	6	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	栃木県児童館連絡協議会東児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会東児童館参画事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	東児童館				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 栃木県児童館連絡協議会会則	事業期間	開始年度	H11	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県児童館連絡協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の会議や研修会に参加することにより、児童館職員の意見交換や資質の向上を図っている。 ※協議会とは、栃木県子ども総合科学館と県内14市町の児童館等４１館で構成し、児童館運営の充実強化と児童福祉の増進を目的とした団体である。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館相互交流により、他市等の状況や有効な知識や情報を基に、児童館主催の各イベント運営に役立てる。 ・研修会等参加し、児童館職員の資質向上を図る。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会参加回数	回	4	6	5	6	6
研修会参加職員数	人	4	6	5	6	6

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (Ｒ５年度に行った主な活動内容)	（市の活動） 栃木県児童館連絡協議会に負担金を支出し、会議や研修会に参加。 （栃木県児童館連絡協議会の活動） 総会、役員会、職員研修の充実、普及啓発活動、児童館相互の交流活動の充実、児童厚生員二級指導員の資格認定研修の実施等。

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会参加回数	回	4	6	5
研修会参加職員数	人	4	6	5
事業費計	千円	3	3	3
一般財源	千円	3	3	3
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・栃木県児童館連絡協議会の各種研修会に参加することにより、新たな情報・知識を習得することができる。その情報・知識を東児童館の各イベント運営に役立てることにより、イベントに参加した方々に十分な満足が得られることに寄与する。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会参加回数	回	4	6	5	値が大きいほど良い	効果が下がった
研修会参加職員数	人	4	6	5	値が大きいほど良い	効果が下がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	2指標
	指標全体	**効果が下がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	東児童館管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		東児童館管理運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	東児童館				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市児童館条例	事業期間	開始年度	H11	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。 ・施設を安全に維持管理する。

（２）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。 ・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,558	11,538	12,094	12,500	12,500
各種事業開催回数	人	57	79	116	120	120
各種事業参加者数	人	1,185	2,056	2,109	2,200	2,200
修繕箇所	箇所	1	3	1	1	1

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 （Ｒ５年度に行った主な活動内容）	・子育て教室「わいわいタイム」の実施（毎週木曜日開催） ・四季おりおりの行事開催 ・各種教室の実施（工作タイム、スポーツタイム、スターウォッチングなど） ・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子育て教室開催回数	回	31	37	37
各種教室開催回数	回	26	37	46
行事開催回数	回	0	5	5
事業費計	千円	12,540	13,089	13,982
一般財源	千円	8,649	9,145	10,365
特定財源（国・県・他）	千円	3,891	3,944	3,617
（うち受益者負担）	千円	554	506	417

（３）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	・新型コロナウイルスが第５類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のＰＲ活動を重点的に実施した。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	8,558	11,538	12,094	値が大きいほど良い	効果が上がった
各種事業開催回数	人	57	79	116	値が大きいほど良い	効果が上がった
各種事業参加者数	人	1,185	2,056	2,109	値が大きいほど良い	効果が上がった
修繕箇所	箇所	1	3	1	値が小さいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	4指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方々に子育て教室や各事業への参加を促すための周知方法等の検討

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

子育て教室や各事業への参加者を増やすため、ホームページ等への掲載、各種施設（公民館、学校、近隣金融機関、商店等）でのポスターの掲示等、より多くの方々の目に留まる周知方法の改善に努める。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	栃木県児童館連絡協議会南児童館参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会南児童館参画事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	南児童館				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 栃木県児童館連絡協議会会則	事業期間	開始年度	H9	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県児童館連絡協議会に会員として負担金を支出している。また、協議会主催の会議や研修会に参加することにより、児童館職員の意見交換や資質の向上を図っている。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・県児童館連絡協議会主催の研修会に児童厚生員が参加し、新たな知識や情報を得ることを目的とする。その新たな知識・情報を基に、児童館主催の各イベント運営に活かし、参加者に十分な満足が得られるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会参加回数	回	6	6	7	6	6
研修会参加職員数	人	6	6	7	6	6

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・県児童館連絡協議会主催の総会及び年度当初予定されていた研修会に館長はじめ児童厚生員が参加した。また、急遽、開催された研修会にも参加した。

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会参加回数	回	6	6	7
研修会参加職員数	人	6	6	7
事業費計	千円	3	3	3
一般財源	千円	3	3	3
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・県児童館連絡協議会の各種研修会に参加することにより、新たな情報・知識を習得することができる。その情報・知識を南児童館の各イベント運営に役立てることにより、イベントに参加した方々に十分な満足が得られることに寄与する。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会参加回数	回	6	6	7	値が大きいほど良い	効果が上がった
研修会参加職員数	人	6	6	7	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	南児童館管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		南児童館管理運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	南児童館				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市児童館条例	事業期間	開始年度	H9	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。 ・施設を安全に維持管理する。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。 ・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	12,000	12,000
事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	2,000	2,000
修繕箇所	箇所	4	4	4	0	0

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (Ｒ５年度に行った主な活動内容)	・子育て教室「やんちゃママ＆キッズクラブ」の実施（毎週月曜日開催） ・四季おりおりの行事開催 ・各種教室の実施（工作タイム、スポーツタイム、スターウォッチングなど） ・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施 ※空調設備改修工事のため、４月20日から４月28日まで休館

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子育て教室開催回数	回	32	30	36
各種教室開催回数	回	39	40	50
行事開催回数	回	0	3	5
事業費計	千円	14,271	14,043	14,782
一般財源	千円	10,524	9,615	10,482
特定財源（国・県・他）	千円	3,747	4,428	4,300
（うち受益者負担）	千円	646	700	716

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・新型コロナウイルスが第５類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のＰＲ活動を重点的に実施した。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	値が大きいほど良い	効果が上がった
事業参加者総数	人	1,075	1,465	1,931	値が大きいほど良い	効果が上がった
修繕箇所	箇所	4	4	4	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	1指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月5日

事業名	市管理児童遊園地維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども政策課		予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		市管理児童遊園地維持管理事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こども育成係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	市管理である児童遊園地の維持管理 越名児童遊園地　所在地：越名町153　面積：867㎡

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	こどもとその保護者が、安心して過ごせる場所がある。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援まちなかプラザ一日平均来館者数	人	10	10	10	15	15

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	市管理である児童遊園地の維持管理のため、地元町会に除草作業を委託した。 ・除草回数：年３回 ・町会委託料：50,000円

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
除草作業回数	回	3	3	3
事業費計	千円	30	30	50
一般財源	千円	30	30	50
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
子育て支援まちなかプラザ一日平均来館者数	人	5	6	11	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・地元町会から除草等委託料について増額の要望があった。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月5日

事業名	町会等設置遊園地遊具整備支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		町会等設置遊園地遊具整備支援事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こども育成係				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市児童遊園地遊具施設整備費補助金交付要綱	事業期間	開始年度	平成17	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	町会等が設置している児童遊園地遊具施設の整備に対し補助金を交付する。 ・補助率1/2、上限50万円

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	こどもとその保護者が、安心して過ごせる場所がある。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援まちなかプラザ一日平均来館者数	人	10	10	10	15	15

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（Ｒ５年度に行った主な活動内容）	えびす児童遊園地（久保町）　74,250円 遊具撤去

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
補助金交付町会数	箇所	1	0	1
事業費計	千円	468	0	74
一般財源	千円	468	0	74
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	・新たに遊具等を設置せるのではなく、近年は遊具の撤去作業が多い。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
子育て支援まちなかプラザ一日平均来館者数	人	5	6	11	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・社会情勢の変化により、戸外でこどもだけで遊ぶ機会が減り、児童遊園地の利用者は減少している。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	アストロカー管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		アストロカー管理運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	移動観測車アストロカー「シリウス」使用基準	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	動く天文台アストロカー「シリウス号」の維持管理のための事業 各児童館主催の「天体観測会」や「太陽黒点観測会」、「こどもの国のイベント」、「日本宇宙少年団佐野分団活動」など、講師とともにアストロカーを派遣している。

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	町会、子ども会、児童館、学校等にアストロカーを派遣し、子ども達が星座・天体観測を体験することで、自然科学への関心、興味の高揚、理解を深める。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
活動回数	回	15	15	20	20	20
参加者数	人	1,500	1,800	2,000	2,000	2,000

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	5月号広報紙に利用募集周知（10団体） ・事業実施期間　6月1日(木）～2月29日(木) ・利用団体・日時等 ①こどもの国等主催事業　5回　624名 こどもフェスティバル　5月３日(祝）～５日(祝) レクリンピック 10月15日(日) 新春正月遊び大会 1月8日（祝） ②日本宇宙少年団佐野分団（11月～12月）1団体(６回)205名 ③各団体等派遣　4団体(5回）267名 赤見町大門町会　8月6日（日）17:00　大門公民館 105名 南児童館　11月28日（火）17:00 館庭 40名 〃　令和6年1月25日（木)17:00 館庭 44名 西児童館　11月29日(水）16:30 館庭　38名 東児童館　令和6年2月16日（金)17:00 館庭 40名

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
活動回数	回	13	9	16
参加者数	人	1,345	1,619	1,096
事業費計	千円	370	682	570
一般財源	千円	370	682	570
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	活動回数についてR4からR5は増加したが、参加者数は減少した。これは、R4の３大イベント（こどもフェス、レクリンピック、新春正月遊び大会）の参加者がR5と比較し多かったためである。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
活動回数	回	13	9	16	値が大きいほど良い	効果が上がった
参加者数	人	1,345	1,619	1,096	値が大きいほど良い	効果が下がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	**効果は変わらない**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		○	
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・予備日も含めて申請していた団体がキャンセルしたケースがあったため、確実に実施するのかを確認する必要がある。
・利用団体数が減少しているため、広報活動を通して周知を図る必要がある。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

・天体観測は実施が天候に左右されることから、申請にあたり２利用日までの申請をしてもらい、確実に実施できるようにする。
・アストロカーのイベント参加の取組検討、利用団体数を増加させるためこどもの国のHPやSNSで周知を図る。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	こどもの国維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		こどもの国維持管理事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市こどもの国条例、佐野市こどもの国条例施行規則	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	平成12年3月27日に開設した、こどもの国の施設の維持管理を行う事業である。 ・こどもの国敷地面積　44,000平方m　建物延床面積2,672.14平方m(総合こどもセンター2,218.95、休憩舎85.10、トイレ42.12、四阿10.39、管理詰所80.80、車庫110.0、屋外トイレ18.0、こどもの森工作教室106.78) ・施設管理 業務委託（クビアカ、スズメバチ）施設管理委託（清掃、警備、果実、樹木、芝広場）、保守管理委託（電気機械、自家用電気工作物、遊戯設備、調光吊物、移動観覧設備、からくり時計、AV機器、非常通報装置、熱帯魚水槽、防災設備、特殊展示設備、インターネット）、廃棄物処理委託（漁船内オイル）

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	子ども（乳幼児から高校生までの児童生徒）と保護者が、こどもの国を安全で快適に利用してもらう。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設管理上の苦情件数	件	2	2	2	2	2

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	総合こどもセンター等施設、所有車両、遊具及び備品等の点検保守、管理等 修繕関係 　維持補修費11件（施設設備9件　遊具２件） 　物件費８件（公用車１件 バス１件 芝刈機 6件） 委託関係 　業務委託２件 施設管理委託 7件 保守管理委託 12件 廃棄物処理委託１件 ＊樹木管理委託の中に危険木処理及び倒木処理委託を含む

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
修繕件数	件	24	17	19
委託件数	件	17	17	22
事業費計	千円	23,911	24,481	26,185
一般財源	千円	23,111	23,019	24,352
特定財源（国・県・他）	千円	800	1,462	1,833
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	修繕について、トイレの水漏れ等突発的なものもあるが、事前に点検し修繕すべき箇所がある場合は早急に対応するようにした。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
施設管理上の苦情件数	件	3	5	4	値が小さいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）　効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

施設の老朽化により修繕箇所が多いため、優先順位を決めて早急に対応する必要があるものから順次修繕を行う。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

児童厚生員の見回りにより発見した修繕箇所や来館者からの指摘箇所など様々な修繕箇所があるが、来館者からの指摘箇所を最優先して修繕を行うよう心掛ける。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	こどもの国運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		こどもの国運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市こどもの国条例	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	こどもの国は、平成５年3月に、佐野市の児童憲章として「こどもの街宣言」を行い、こどもの街の実現に向けて様々な施設整備が行われるなか、「実際にこども達が楽しく集える場所」の拠点施設として、平成12年3月に開設した。4.4ヘクタールの広大な敷地内には、本物のロケットや宇宙探査遊具、からくり時計、漁船及び恐竜のすべり台などが設置されている。また総合こどもセンター内には、広い空間で遊べる「プレイアトリウム」、電車の運転手の気分が味わえる「交通シュミレーター」、コンピュータを使って自由に検索学習できるパソコンルームなどの設備を備えている。 施設には子どもに遊びの支援を行う「児童厚生員」が常駐し、来館される子どもや家族に対して遊びのサポートや来館者の安全管理に努めている。 また、年間を通して「こどもの国企画事業実行委員会」が企画・運営する各種のイベントや体験教室、週末・祭日にかけて行われる「こども映画館」、市内小学校と連携した「果実収穫体験移動室」など様々な分野への子どもの興味と可能性を伸ばす取組を実施している。

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	子ども（乳幼児から高校生まで）とその保護者が、健全な遊びを通して楽しく安心して過ごすことができる。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
来館者数	人	80,000	85,000	90,000	95,000	#####

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	常勤４名、非常勤５名の児童厚生員が常駐し、遊びのサポートや安全確保に努めている。 児童厚生員事業 「ぴよぴよタイム」（未就学児対応）50回 1,404人 「わんぱくタイム」（小学生対応） 50回 688人 「みんなで遊ぼう」 12回 555人 「レクキッズ広場」 12回 576人 映画事業 こども映画館(日曜・祝日) 50回 1,086人

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座等開催回数	回	224	233	243
事業費計	千円	18,002	17,883	18,307
一般財源	千円	17,964	17,837	3,234
特定財源（国・県・他）	千円	38	46	15,073
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	R３までは、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止しなければならないものもあり、開催回数、人数とも減少していたが、R4以降は全ての事業を実施できたため、開催回数及び来館者数ともに増加した。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
来館者数	人	53,107	85,389	90,893	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった	○		
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・こどもの国の事業として、企画事業実行委員会支援事業（こどもフェス、レクリンピック、愉快なクリスマスコンサート、新春正月遊び大会等）に目を向けられがちになるが、こどもの国に対する意見や要望を踏まえ、児童厚生員として実施できるものについては新たな取組等を行うことが必要。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

・こどもの国に対する意見や要望を踏まえて、「ぴよぴよタイム」や「わんぱくタイム」等の児童厚生員事業において新たな取組を行う。
・こどもの国のホームページやツイッターを活用し、こどもの国の各種事業の周知を行い、来館者を増加させる。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	こどもの国企画事業実行委員会イベント開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs　該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		こどもの国企画事業実行委員会イベント開催事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	こどもの国企画事業実行委員会会則	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	市内の子どもに関する団体で組織するこどもの国企画事業実行委員会と連携を図りながら、こどもの国で実施する各種イベントや講座を企画運営し、手作りの市民サービス型事業を展開する。 こどもの国企画事業実行委員会委員は10名

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	児童（乳幼児から高校生まで）とその保護者が、イベントや講座に参加することで、子ども同士の交流や家族とのコミュニケーションを深める。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講座等参加者数	人	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	１．4大イベント 6回 8,152人 ・こどもフェスティバルinSANO2023、レクリンピック、愉快なクリスマスコンサート、新春正月遊び大会 ２．体験教室事業 14回 828名 ３．共催事業 7回 304名 ４．学校連携（果実収穫体験移動教室） 9回 605人 ５．児童厚生員事業 127回 3,290名 ６．こども映画館 50回 1,086名 ７．支援団体事業 8回 296名 ８．宇宙少年団 21回 1,307名

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
来館者数	人	53,107	85,389	90,893
講座等開催回数	回	234	296	306
事業費計	千円	319	975	950
一般財源	千円	319	975	950
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	R3からR4にかけて参加者が増加しているのは、コロナウイルス感染症の影響で未実施だった事業が、R４に全て実施できたため、増加したものである。 また、R4からR5にかけて参加者数が減少していることについては、一部の事業において増加は見られたものの４大イベントをはじめとした各種事業において参加者が減少したことによるものである。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
講座等参加者数	人	8,083	18,315	15,868	値が大きいほど良い	効果が下がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	**効果が下がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			○
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・企画事業実行委員会主体の事業の見直しが必要、また、今後こどもの国の運営を支援するボランティアの育成等が必要である。
・各種事業の周知活動が不足している。様々な手法で、こどもの国や事業活動のPRを実施する。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

・事業を実施するにあたり、個人・団体ボランティア受け入れの取組を行う。
・企画事業実行委員会とボランティアの連携を図る。
・こどもの国の４大事業をはじめとした各種事業について、HP、SNS、広報紙等を利用して周知活動の充実を図る。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　2024年8月9日

事業名	西児童館管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		西児童館管理運絵事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	西児童館				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市児童館条例	事業期間	開始年度	H13	実施方法	一部委託
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施している。 ・施設を安全に維持管理する。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。 ・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
各種事業の開催回数	回	93	116	116	120	120
各種事業の参加人数	人	1,168	1,592	1,197	1,600	1,600
入館者数	人	5,142	6,762	6,531	7,000	7,000
施設の修繕件数	件	3	1	1	1	1

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・ハイハイタイム（毎月第１～３火曜日）やのびのびタイム（毎月第１～３金曜日）子育て教室、ミニミニ運動会、ミニミニクリスマス会、ミニミニお楽しみ会の実施。 ・スポーツタイム、工作タイム、折り紙タイム、スターウオッチングなど各種教室の開催。 ・ゴーゴー児童館、西児童館フェア、豆まき会、ひなまつり会など季節のイベントを開催 ・定期的に館内外の清掃および安全点検等の実施

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子育て教室開催回数	回	49	58	58
各種教室開催回数	回	44	54	54
行事開催回数	回	0	4	4
事業費計	千円	11,884	12,114	12,611
一般財源	千円	9,543	9,911	9,382
特定財源（国・県・他）	千円	2,341	2,203	3,229
（うち受益者負担）	千円	166	252	433

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・新型コロナウイルスが第５類へ移行したが、入館者数等の改善には至らなかった。 ・減った事業への参加者数を取り戻すため、実施事業のＰＲ活動を重点的に実施した。 ・こどもとその保護者が、安心して過ごせる場所がある。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
各種事業の開催回数	回	93	116	116	値が大きいほど良い	効果は変わらない
各種事業の参加人数	人	1,168	1,592	1,197	値が大きいほど良い	効果が下がった
入館者数	人	5,142	6,762	6,531	値が大きいほど良い	効果が下がった
施設の修繕件数	件	3	1	1	値が小さいほど良い	効果は変わらない

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
	効果が下がった指標数	2指標
	指標全体	**効果が下がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			○
	費用の増減無し			
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

悪天候や、ＰＲ不足などの影響により季節のイベントや各種教室の参加者が減少したことにより、入館者数も減少した。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

子育て教室や各種事業への参加者を増やすためのイベントのPR策として、ホームページ、SNSへの掲載、各種施設でのポスターの掲示など人の目にとまる事業の改善に努める。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日 令和６年

事業名	こどもの国総合こどもセンター等空調設備改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	こども課		こどもの国総合こどもセンター等空調設備改修事業		款	3	新規or継続	新規事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市こどもの国条例、佐野市こどもの国条例施行規則	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設等整備事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	こどもの国総合こどもセンター及びこどもの森工作教室の空調設備について改修を行うため、２施設の実施設計を行う。 現在の空調設備はガス方式（吸収式冷温水機型）だが、他の２方式（ガスヒーポン、電気（マルチエアコン））と合わせて３方式の設計を行い、性能やコスト等で比較し、電気方式（マルチエアコン型）を採用した。

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	こどもの国の空調設備を改修することで、来館者が快適に施設を利用することができる。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
空調に関する苦情件数	件	4	4	4	4	4

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	・建築住宅課へ設計業務委託依頼 ・指名競争入札（業者選定） ・契約期間：令和5年5月19日～令和5年9月30日 ・契約金額：2,673,000円 ・前払金：800,000円（R5.6.12支払い） ・業者が空調設備について、既設方式、ガスヒーポン方式、電気（マルチエアコン）方式の３案を作成、業者、建築住宅課及びこども課の３課で各方式の概要、制御制、安全性、保守管理、コスト等を協議し、EHPビルマルチエアコン（電気）方式を選定した。（R5.9） ・業務委託完了払（R5.12.11）

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
実施設計数	件	0	0	2
改修方式協議回数	回	0	0	3
事業費計	千円	0	0	2,673
一般財源	千円	0	0	2,673
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	空調設備については、R３は０件であったのが、R4では４件となり、R5では９件と増加している。これは、空調設備の不良が要因とされるものであり、これを踏まえて令和５年度から空調設備の改修工事を実施することとなった。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
空調に関する苦情件数	件	0	4	9	値が小さいほど良い	効果が下がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

		費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	1指標
	指標全体	効果が下がった

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した			○

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・設計業者とは３回設計についての協議を行った。１回目は業者に対するこどもの国の概要、要望等を説明し、業者からは実施設計に関する説明をいただいた。２回目に業者が作成した改修案を踏まえて検討、３回目に２回目で協議修正したものを踏まえて、電気方式とする事とした。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

・令和５年度の実施設計を受けて、令和６年度に改修工事を実施する。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	栃木県児童館連絡協議会こどもの国参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		栃木県児童館連絡協議会こどもの国参画事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	こどもの国				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法、栃木県児童館連絡協議会会則	事業期間	開始年度	H12	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	参画事業
	施策	2	子育てしやすい環境の整備						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	栃木県児童館連絡協議会に会員児童館として負担金を支出し、県協議会の研修やブロック別研修会に参加、その結果情報等を職員間で共有することで、児童厚生員の資質向上、児童厚生員事業の新たな遊びの情報収集、他の児童館との交流・情報収集を図る。

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	職員（館長及び児童厚生員等）の資質の向上及び他の児童館との交流や情報交換が図られる。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会参加者数	人	4	4	4	4	4

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	・研修会、児童厚生員等講習会への参加（３人） 館長研修１回、児童厚生員研修１回２名 ・栃木県児童館連絡協議会へ負担金の支出

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会参加者数	人	4	2	3
事業費計	千円	3	3	3
一般財源	千円	3	3	3
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	目標値には及ばなかったが、研修スケジュール内容から児童厚生員の希望する研修に参加してもらうことはできた。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会参加者数	人	4	2	3	値が大きいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）効果が上がった指標数	1指標
効果は変わらない指標数	0指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

毎年４月に栃木県児童館連絡協議会総会で年間の活動計画が示されるが、申込通知等は後日送付されるので、希望する研修を受講できない場合もあった。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

栃木県児童館連絡協議会総会資料の年間スケジュールから研修メニューを事前に把握し、計画的に児童厚生員が研修に参加できるようにする。

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	南児童館空調設備改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ
	課	こども課		南児童館空調設備改修事業		款	3	新規or継続	新規事業
	係	南児童館				項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	H４	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	H５	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・施設利用者が安心・安全に施設が利用できるよう空調設備の改修を行う。

（２）目的

目的（本事業によって成し遂げたい状態）	・施設利用者が安心・安全に利用できるように施設の維持管理を行う。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	12,000	12,000
修繕箇所数	箇所	0	0	4	0	0

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績（R５年度に行った主な活動内容）	・経年劣化が原因で不具合が生じている空調設備（エアコン11台、室外機３台）の改修を行った。

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
改修したエアコン台数	台		0	11
改修した室外機台数	台		0	3
事業費計	千円	0	0	10,299
一般財源	千円		0	10,299
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明（定量及び定性）	・老朽化し不具合が生じていた空調設備を新たなものに改修することにより、利用者が快適に利用できた。併せて、使用電気料の削減もできた。例えば、令和4年度1,032,521円かかっていた電気代も令和5年度は756,455円と削減できた。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	8,435	8,740	11,316	値が大きいほど良い	効果が上がった
修繕箇所数	箇所	0	4	0	値が小さいほど良い	効果が上がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	**効果が上がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した	○		

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

事業終了

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

仕事の振り返りシート（令和５年度実施分）

作成・更新日　令和6年8月9日

事業名	田沼児童館管理運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

１．基本情報

担当組織	部	こども福祉部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	こども課		田沼児童館管理運営事業		款	3	新規or継続	継続事業
	係	田沼児童館				項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 佐野市児童館条例	事業期間	開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり			終了年度	－	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

２．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	・児童の健全育成を図るとともに遊びの提供の場として、こどもやその保護者など地域住民がいつでも気軽に遊んだり、各種事業に自由に参加できることにより、地域の連携を深め、また子育てに伴う経済的、精神的負担が軽減されることを目的として、子育て支援事業や四季の行事等を実施する。 ・施設を安全に維持管理する。

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・児童館主催の各種事業を滞りなく実施することにより、児童館入館者及び各種事業への参加者増を図る。 ・修繕が必要とされる箇所を修繕することにより、利用者が安心して、また、安全に利用できるようにする。

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
入館者数	人	5,082	9,032	8,836	9,000	9,000
各種事業開催回数	人	85	108	106	110	110
各種事業参加者数	人	1,251	2,342	2,055	2,200	2,200
修繕件数	件	1	1	4	1	1

３．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R５年度に行った主な活動内容)	・子育て教室「にこにこタイム」の実施（毎週月曜日開催） ・子育て教室「ドレミルーム」の実施（第２、第４水曜日実施） ・四季おりおりの行事開催 ・各種教室の実施（工作タイム、折り紙タイム、スポーツタイム、スターウォッチングなど） ・定期的に館内外の清掃及び安全点検等の実施

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
子育て教室開催回数	回	48	54	52
各種教室開催回数	回	37	49	49
行事開催回数	回	0	5	5
事業費計	千円	11,802	12,722	13,974
一般財源	千円	8,369	9,101	10,682
特定財源（国・県・他）	千円	3,433	3,621	3,292
（うち受益者負担）	千円	305	506	292

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・新型コロナウイルスが第５類へ移行し、規制が緩和されたことにより入館者等の数値が徐々にではあるが以前の状況に戻りつつある。また、減った事業者への参加者数を取り戻すため、実施事業のＰＲ活動を重点的に実施した。R4とR5の一般来館者数（こどもクラブ利用児童を除く）を比較すると、R4が5,615人、R5が6,586人であった。

（４）事業効果を説明する数値データの推移　↓選択して下さい

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
入館者数	人	5,082	9,032	8,836	値が大きいほど良い	効果が下がった
各種事業開催回数	人	85	108	106	値が大きいほど良い	効果が下がった
各種事業参加者数	人	1,251	2,342	2,055	値が大きいほど良い	効果が下がった
修繕件数	件	1	1	4	値が小さいほど良い	効果が下がった

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	4指標
	指標全体	**効果が下がった**

※１０万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した			○

４．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

より多くの方々に子育て教室や各事業への参加を促すための周知方法等の検討

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

- ☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- ☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- ☐ 事業費の見直し検討
- ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

子育て教室や各事業への参加者を増やすため、ホームページ等への掲載、各種施設（学校、近隣金融機関、商店等）でのポスターの掲示等、より多くの方々の目に留まる周知方法の改善に努める。